

(お知らせ)

令和2年10月16日
防衛省

令和元年度における FMS調達の実績額・未納入額・未精算額について

FMS調達における未納入・未精算などの課題については、米国と連携し、改善に向けた取組を継続してきているところ、今般、令和元年度におけるFMS調達の調達実績額、未納入額及び未精算額について集計が完了しましたので、お知らせいたします。

1. 調達実績額、未納入額及び未精算額

- 令和元年度 調達実績額 約6,972億円 対前年比約2,894億円増
(約71%増)
- 令和元年度末 未納入額 約166億円 対前年比 約160億円減
(約49%減)
- ※直近5か年度(H26~30)平均(252億円)に比べ、約34%減
- 令和元年度末 未精算額 約332億円 対前年比 約161億円減
(約33%減)
- ※直近5か年度(H26~30)平均(496億円)に比べ、約33%減

2. 未納入の類型

- 防衛装備庁と各幕とが一体となり、未納入について、分類する作業を初めて実施。

	類 型	金 額
物 品	実際に部隊に物品が納入されず	約38億円
	物品は納入されているが、計算書 ^{※1} が届いていない	約12億円
	物品は納入されており、計算書も届いているが、出荷証書 ^{※2} との突き合わせができておらず、対価額を確定できない	約16億円
	開設したケースの払い込み額のうち一定額を活用できない (価格の変動に備え留保)	約48億円
役 務	計算書が届いておらず、実際に役務が提供されていることが確認できない	約16億円
	計算書が届いているが、役務の提供を確認する部隊からの書類(検査調書)との突き合わせができておらず、対価額を確定できない	約34億円

※1 米国防省の会計機関から防衛省に送付される会計手続上の書類。出荷された装備品等の価額が記載されている。

※2 米国製造企業から防衛省に送付される出荷手続上の書類。出荷された装備品等の品名、物品番号等が記載されている。

- 防衛省としては、未納入の類型ごとに適切な取組・手段をとることにより、未納入問題の解決に向け努力。

3. 長期未精算ケース数^{※3}について

- 令和元年度末時点の長期未精算ケース（納入完了後10年を超えて最終計算書が到着していないケース）の数 6件（約2億円） 対前年比 4件減（約2億円減）
- 当該6件の早期の精算を米側に働きかけた結果、9月末時点で精算済4件（約1.5億円）、最終精算手続中1件（約0.4億円）。（残る1件（約0.1億円）については日米間で協議中。）

※3 いわゆる契約件数のことをいう。